



# インドネシア・日本法教育研究センター

インドネシアは、年々堅調な経済成長を遂げている。豊富な天然資源と約2億4000万の人口を有し、その経済的競争力は今後ますます強くなっていくと予想されている。また、インドネシアは、ASEAN地域全体の安定的な経済発展及び友好関係構築に向け、重要な役割を担っていく国として期待を寄せられている。その一方、国民福祉の向上や民主主義の確立等、インドネシア社会には依然として多くの課題が残されている。

インドネシアと日本の関係は、経済の強い結びつきを背景に、いっそう緊密になっている。それに伴い、文化的・人的交流もさらに加速しており、両国の友好協力関係は、経済分野のみに留まらないものとなっている。日本は対インドネシア最大援助国として、インドネシアのいっそうの発展への寄与が求められている。

名古屋大学は、かねてよりアジア地域における活動に力を入れ、特に法学分野では、市場経済移行国に対する法整備支援事業と、アジア法研究を推進してきた。「インドネシア・日本法教育研究センター」は、インドネシア最高峰の法学部を有するガジャマダ大学と協働して、日本法およびインドネシア法、さらにはASEAN共同体形成に向けた法制度改革についての情報を収集・発信し、研究活動を行う拠点である。



**ガジャマダ大学**は、1949年に設立されたインドネシアで最も歴史のある大学のひとつである。広大なキャンパスに18学部を擁し、学部・大学院を合わせると200以上の教育プログラム、25以上の研究所を有している。現在約2,300名の教員、約55,000名の学生及び約650名の留学生在籍しており、インドネシア最大規模の大学であり、かつ、もっとも権威ある大学である。

**法学部**はFoundation and Bureau of School of Gadjah Madaによって1946年に設立され、ガジャマダ大学よりもその歴史は長い。これまで、法曹界、ビジネス界へ優秀な人材を多く輩出しており、インドネシア最高峰の法学部という評価を国内外から得ている。英語による法学教育にも力を注いでおり、国際競争力のある人材を積極的に育成している。

## ◆名古屋大学とガジャマダ大学の学術交流

ガジャマダ大学と名古屋大学は1995年に大学間学術交流協定を結び、以来広い分野で学術交流を行ってきた。文理を問わず多くの研究者・学生を相互に受け入れている。

法学部は2012年度から5年間、文部科学省・大学の世界展開力強化事業「ASEAN地域発展のための次世代国際協カリーダー養成プログラム」を実施し、その一環として、ガジャマダ大学法学部と相互に長期・短期で学生の派遣・受入を行った。本プログラムには、法学分野の講義の受講の他に、自国文化の発信や相手国の言語習得なども盛り込まれており、専門知識の修得に留まらない、包括的でより深い相互理解が促進された。

## ◆インドネシア・日本法教育研究センター概要

### ▼研究交流拠点として

インドネシア・日本法教育研究センターは、インドネシアおよび日本両国の法制度を比較するため、国際セミナーを開催する。また、大学教員および学生に対する英語・現地語による日本法情報の発信拠点としての役割を担う。

### ▼学生交流拠点として

文部科学省・大学の世界展開力強化事業「ASEAN地域発展のための次世代国際協カリーダー養成プログラム」やJASSO奨学金「アジア志向法律家育成支援プログラム」により、ガジャマダ大学法学部と名古屋大学法学部とで、相互に長期・短期で学生の派遣・受入を行っている。日本からの短期派遣時には、ガジャマダ大学でのインドネシア法に関する講義を実施するほか、両国の法・政治・社会に関する討論、法律関係機関への視察を行っている。

連絡先 E-mail: indonesia@law.nagoya-u.ac.jp

住所: Jalan Sosio Justicia No. 1 Bulaksumur, UGM, Yogyakarta 55281 Indonesia



ガジャマダ大学法学部講義室